

# HB100シリーズ 取付説明書

⚠ 必ずお読み頂き、正しく取付けを行ってください。

SLA80620-A-200 (HB100 本体)	SLA80620-A-100 (HB100 フェース)
	SLA80620-B-100 (HB110 フェース)
	SLA80620-C-100 (HB110-II フェース)
	SLA82620-B-100 (HB110-IV フェース)

## 本体・埋込みボックス調整用ねじ推奨品

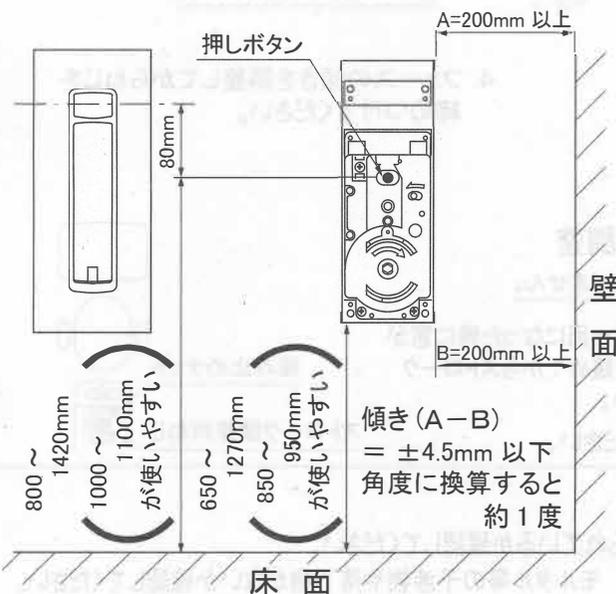
※ 調整用ねじは本体に同梱されておりません。必要な場合は現地調達をお願いいたします。

 ナベ小ねじ M5 長さ 25 - 4 本 (本体調整用)

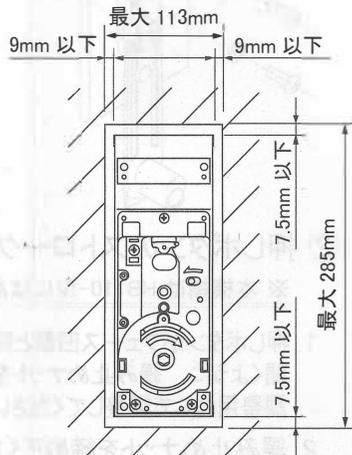
 ナベ小ねじ M5 長さ 40 - 4 本 (埋込みボックス調整用)

## 埋込みボックスの取付け

### ① 床からの高さや壁からの距離



### ② 壁切欠寸法



※ 図示寸法を超えると、フェースで切欠を隠せない場合があります。

※ HB100、HB110 及び HB110-II の場合：フェースの押しボタンは本体の押しボタンより 80mm 高くなります。  
HB110-IV の場合：フェースの押しボタンと本体の押しボタンが同じ高さになります。

### ③ 埋込み深さ

〈HB100、HB110、HB110-II の場合〉



〈HB110-IV の場合〉



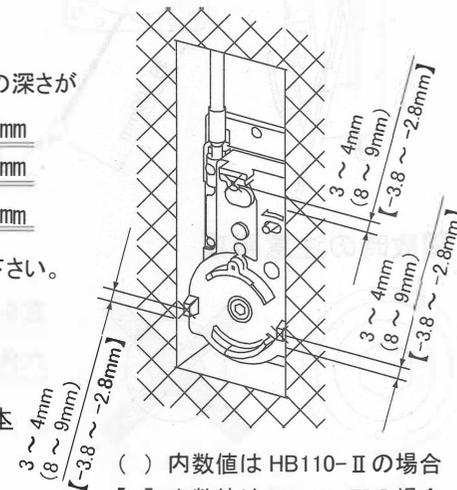
### ④ 本体の深さ調整

壁仕上げ面から測定点 (右図参照) までの深さが

HB100 及び HB110 の場合	3 ~ 4mm
HB110-II の場合	8 ~ 9mm
HB110-IV の場合	-3.8 ~ -2.8mm

になるように本体の深さ・傾きを調整して下さい。

埋込みボックスでの調整ができない場合で、本体での調整が 5mm 以上必要な場合は、本体取付け用のねじとして M5 長さ 22-3 本を使用してください。(現地調達)

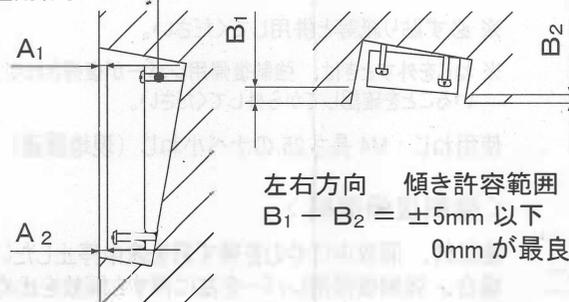


( ) 内数値は HB110-II の場合  
【 】 内数値は HB110-IV の場合

※ HB110-IV は壁面より出るのが正しい取付け位置です。

### ⑤ 深さ方向傾き調整

調整用ねじ



上下方向 傾き許容範囲

$A_1 - A_2 = \pm 5\text{mm}$  以下  
0mm が最良

埋込みボックス調整用

M5 長さ 40 使用  
(現地調達)

本体調整用

M5 長さ 25 使用  
(現地調達)

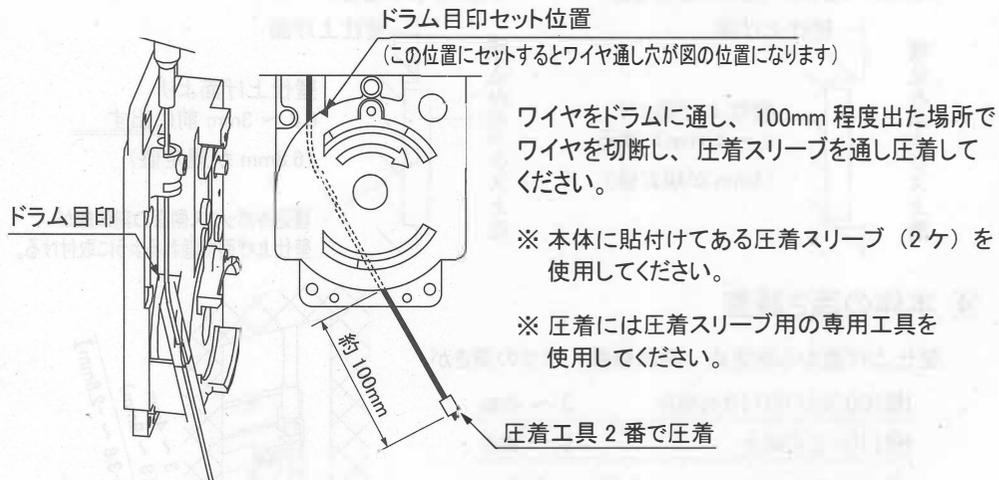
埋込みボックス調整用

M5 長さ 40 使用  
(現地調達)

本体調整用

M5 長さ 25 使用  
(現地調達)

## ⑥ ワイヤの固定（埋込みボックスから本体を外すと作業が楽に行えます）



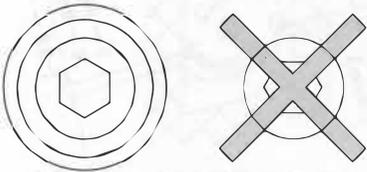
ワイヤをドラムに通し、100mm程度出た場所でワイヤを切断し、圧着スリーブを通し圧着してください。

※ 本体に貼付けてある圧着スリーブ（2ケ）を使用してください。

※ 圧着には圧着スリーブ用の専用工具を使用してください。

圧着工具 2番で圧着

## ⑦ 開放時の注意事項



窓を開ける時には、フェース接続用六角穴の六角頂点が上になるようにしてください。

※ 六角頂点が上にないと窓が開かないことがあります。

## ⑧ 補助機構



開放禁止用ねじ穴

※M4 長さ25mm  
(現地調達)

強制復帰用レバー

### < 開放禁止機構 >

開放禁止用ねじ穴に下記指定のねじを付けると、押しボタンを押しても、第三者に窓を開けられるのを防ぐことができます。

※ 必ず貼り紙等と併用してください。

※ ねじを外すときは、強制復帰用レバーが復帰されていることを確認してから外してください。

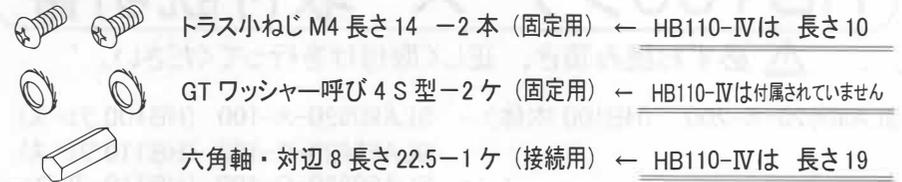
使用ねじ：M4 長さ25 のナベ小ねじ（現地調達）

### < 強制復帰機構 >

施工時、開放中にやむを得ず窓を途中停止したい場合、強制復帰用レバーを左に押しと開放を止めることができます。

※ 途中停止は、内部への負担が大きいため緊急時以外は使用しないでください。

## フェースねじセット内容

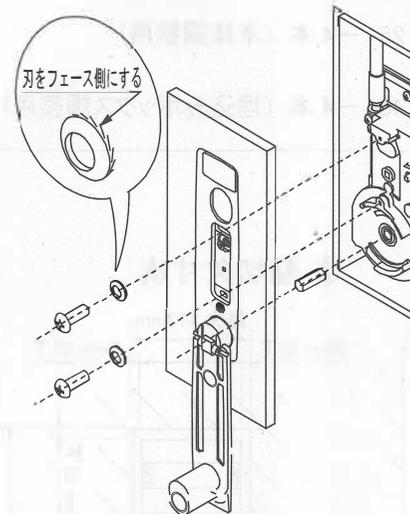


## フェースの取付け

※ ハンドルに15kg以上の力を加えると部品が破損することがあります。

### ① フェースの取付け

(図は SLA80620-B-100)



1. 本体に六角軸をはめてください。

2. 六角軸にフェースの六角穴が合うようにフェースをかぶせてください。

3. GT ワッシャーの刃がフェース側になるようにしてフェースを仮止めしてください。

(HB110-IVは仮止めのみ)

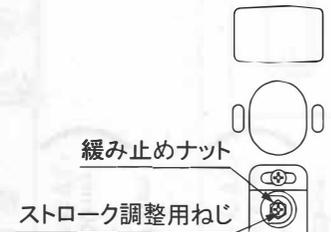
4. フェースの傾きを調整してからねじを締めつけてください。

### ② 押しボタンのストローク調整

※ 本機構は HB110-IVにはありません。

1. 押しボタンがフェース凹部と同一面になった時に窓が開くように、緩み止めナットを緩めてからストローク調整用ねじで調整してください。

2. 緩み止めナットを締めてください。



## ⚠ 作動確認する前に

- ・ 全ての部品が正しく取付けられているか確認してください。
- ・ 窓の開閉時に部品、工具、モルタル等の干渉物や落下物がいないか確認してください。
- ・ 外部にゴンドラや足場がないか、人等がいないか安全確認してください。

## ⚠ 部品は品質保証のため、純正部品を使用してください。